

あ行	
IoT (アイオーティー)	Internet of Things の略。モノをインターネットに接続し、相互に情報交換を可能にする技術のことで、日本語では「モノのインターネット」とも言われる。IoTにより、これまでインターネットに接続されていなかった様々なモノがネットワークに繋がり、収集したデータを活用することで、新しい価値やサービスを生み出すことが期待されている。
ICT (アイシーティー)	Information and Communication Technology の略。「情報通信技術」を意味し、情報処理や通信技術そのものだけでなく、通信機器やソフトウェア、それを活用した多様なサービスの総称として使われる。
イノベーション	革新的な技術や発想により、新たな価値を生み出し、社会に大きな変化をもたらすこと。
Web 3 (ウェブスリー)	ブロックチェーン技術を基盤とした分散型インターネットの概念であり、特定のプラットフォームに依存せず、個人と個人がつながり、双方向でのデータ利用・分散管理を行うことが可能となることが期待されている。
ウェルビーイング	身体的・精神的・社会的に良い状態にあることをいい、短期的な幸福のみならず、生きがいや人生の意義などの将来にわたる持続的な幸福を含むもの。また、個人のみならず、個人を取り巻く場や地域、社会が持続的に良い状態であることを含む包括的な概念。
AI (エーアイ)	Artificial Intelligence (人工知能) の略。人間にしかできなかったような高度に知的な作業や判断を、コンピュータを中心とする人工的なシステムにより、行えるようにしたもの。
SNS (エヌエヌエス)	Social Networking Service の略。人と人との社会的なつながりを維持・促進する様々な機能を提供する、会員制のオンラインサービス。
SDGs (エスディーゼズ)	Sustainable Development Goals (持続可能な開発目標) の略。令和12(2030)年までに「誰一人取り残さない」持続可能でよりよい社会の実現を目指し、平成27(2015)年に国連で採択された国際目標であり、17の目標と169のターゲットから構成されている。
SDGs (エスディーゼズ) 未来都市	SDGsを推進しようとする全国の自治体の中から、特に先導的にSDGsに取り組み、持続可能なまちづくりを推進する自治体を国が選定している。甲府市は令和6(2024)年5月に選定された。
温室効果ガス	大気中に存在している、太陽からのエネルギーを吸収し、地球の温度を適度に保つ性質を持つガスのことで、二酸化炭素やメタンなどが該当する。

か行

カーボンニュートラル	温室効果ガスの排出量から森林などによる吸収量と除去量を差し引いた合計を実質ゼロにすること。
開府500年	甲府市は令和元(2019)年に、武田信虎公がつつじが崎に館を構えた永正16(1519)年の開府から500年という歴史的な節目の年を迎え、様々な記念事業を展開した。
行政改革	国や地方公共団体の行政機関について、その組織や運営を内外の変化に適応したものに換えること。現在の制度や仕組み、仕事の進め方などを見直したり、新しい取組を取り入れたりする。
協働	住民、事業者、行政、NPO など、異なる性格を持つ組織・集団が、それぞれ固有の機能を提供しながら、対等の立場で協力し合うこと。
合計特殊出生率	15歳から49歳までの女性の年齢別出生率を合計したもので、一人の女性が生涯に産む子どもの数の平均値を示すもの。
コラボレーション	「協働」を参照。

さ行

サイバー犯罪	コンピュータやインターネット等の情報通信ネットワークを利用した犯罪のことで、他人のID・パスワードを不正に取得・利用したり、インターネット上でコンピュータウイルスをばらまく行為などが該当する。
GX (ジーエックス)	Green Transformation の略。温室効果ガスを発生させる化石燃料から、再生可能エネルギー中心へと転換することで、脱炭素と経済成長の両立を目指し、経済社会システム全体を変革すること。
ジェンダーアイデンティティ	自分の属する性別についての、ある程度の一貫性を持った認識のこと。
次世代エネルギー	化石燃料に代わる再生可能エネルギーや、二酸化炭素排出量の少ないエネルギー源のこと。具体的には、太陽光や水力、風力、地熱、バイオマス、水素などのエネルギー源を指す。
シティプロモーション	人口減少問題の克服や、地域の持続的な発展等のために、魅力を創造し、その魅力を地域内外に効果的に訴求することで、価値やイメージの向上を図るための取組のこと。
シビックプライド	まちに誇りと愛着を抱き、より良いまちにするためにまちづくりやまちの魅力発信などに積極的に関わろうとする意識のこと。
新興感染症	かつては知られていなかったが新しく認識された感染症で、その蔓延により国民の生命及び健康に重大な影響を与えるおそれがある感染症のことを指す。 過去に発生した新興感染症：HIV 感染症、エボラウイルス病、鳥インフルエンザ、SARS、新型コロナウイルス感染症など
ステークホルダー	利害関係者のことで、行政の場合は、地域住民や企業、NPO や大学、マスコミ、各省庁など、取組に対し、直接的・間接的に関係を有する者の総称。

た行	
多文化共生	国籍や民族などの異なる人々が、互いの文化的違いを認め合い、対等な関係を築こうとしながら、地域社会の構成員として共に生きていくこと。
男女共同参画	「男だから、女だから」といった性別にこだわることなく、誰もが個性と能力を発揮し、家庭・職場・地域など、社会のあらゆる分野に参画する機会があり、利益も責任も自らが担い、自分らしく生き生きと暮らすことができる社会を目指すこと。
地方創生	東京圏への人口の過度の集中を是正し、それぞれの地域で住みよい環境を確保して、将来にわたって活力ある日本社会を維持することを目的とした政策のこと。
中核市	地方自治法第252条の22第1項に定める政令による指定を受けた市を指す。政令指定都市以外で人口20万人以上の要件を満たす、規模や能力などが比較的大きな都市の事務権限を強化し、できる限り住民の身近で行政サービスを提供することで、地方行政を充実させる目的がある。甲府市は平成31(2019)年4月に中核市に移行した。
DX (ディーエックス)	Digital Transformation の略。デジタル技術の導入と浸透により、企業や行政などの組織や活動、あるいは社会の仕組みや在り方、人々の暮らしなどを根本的に変革すること。
テレワーク (リモートワーク)	ICT(情報通信技術)を利用し、本来勤務する場所から離れて仕事をすることができ、時間や場所を有効に活用できる柔軟な働き方。「リモートワーク」もほぼ同義で使用される。
特例市	地方自治法に定められた、人口20万人以上の市で政令によって指定された市のこと。平成27(2015)年4月1日に施行された地方自治法の一部を改正する法律により、特例市制度は廃止されたが、特例市に指定されていた市は、「施行時特例市」として引き続き移譲された事務を処理する。

な行	
日本遺産	地域の歴史的魅力や特色を通じて我が国の文化・伝統を語るストーリーを「日本遺産(Japan Heritage)」として文化庁が認定するもの。甲府市では、昇仙峡が「甲州の匠の源流・御嶽昇仙峡～水晶の鼓動が導いた信仰と技、そして先進技術へ～」として令和2(2020)年6月に認定された。
日本中央回廊	日本の中央部を横断し、三大都市圏を結ぶ高速交通ルート。今後のリニア中央新幹線及び新東名・新名神高速道路等の整備・全線開業を念頭に置く。「国土形成計画」の掲げる「シームレスな拠点連結型国土」において、「全国的な回廊ネットワークの形成」と共に基軸となる。
ニューノーマル	直訳すると「新しい常態」。社会に大きな変化が起こり、変化が起こる以前とは同じ姿に戻ることができず、新たな常識が定着すること。新型コロナウイルス感染症が流行した際、With コロナ・After コロナの時代に求められる新たな生活様式を指す言葉として広まった。

は行

ビッグデータ	従来のデータベース管理システムなどでは記録や保管、解析が難しいような巨大なデータのこと。AIなどの活用によりビッグデータを解析することで、課題解決への活用が期待されている。
フレックスタイム	一定の期間においてあらかじめ定めた総労働時間の範囲内で、労働者が日々の始業・終業時刻、労働時間を自ら決めることによって、生活と業務との調和を図りながら効率的に働くことができる制度のこと。

や行

やまなし 県央連携中枢都市圏 (愛称：県央ネット やまなし)	連携中枢都市圏は、人口減少・少子高齢社会においても一定の圏域人口を有し、活力ある社会経済を維持するための拠点を全国に形成することを目指して国が推進しているもの。令和7(2025)年12月現在、甲府市、韮崎市、南アルプス市、甲斐市、笛吹市、北杜市、山梨市、甲州市、中央市、昭和町、市川三郷町、富士川町の9市3町で形成している。
---	--

ら行

ランサムウェア	感染するとパソコン等に保存されているデータを暗号化して使用できない状態にした上で、そのデータを元に戻すための対価（金銭や暗号資産）を要求する不正プログラムのこと。
ローリング方式	現実と長期計画のズレを埋めるために、施策・事業の見直しや部分的な修正を、毎年転がすように定期的に行っていく手法のこと。